（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援　放課後等デイサービス little デイジー

公表日　令和7年5月23日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・車椅子の移動がスムーズに行えるように家具等の配置にも工夫し、児童が安全に過ごせるよう配慮しています。 ・学習や個別支援スペースを区切っています。余暇時間は静の活動と動の活動でスペースを分けるようにしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・児童との相性やバランスを考え、職員を配置しています。 ・職員全体にも勤務体制の組み方を説明し、理解を得ています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	・階段の手すりや工レベーターの設置、家具の配置などに関しても職員全体で試行錯誤し、模様替えなども行っています。	・もう少し構造化できる余地があると思いますので、その都度職員と話し合いを重ね進めていきたいと思います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・定期的な換気、１日の最後には室内全体を清掃しています。また、学習や個別支援の際は別室で集中して取り組めるよう配慮しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	6		・学習室があり、そこで宿題や個別支援を行っています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		・新しい取り組みをする場合は前もって伝え、職員から意見を求めています。ミーティングにおいて改善すべきところを話し合っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・今回の評価も業務改善に役立てていきたいと思います。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・ミーティング等で自由に発言できる環境があり、その意見に対して職員全体で積極的に取り組む姿勢があります。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・事業所内で定期的な勉強会、事業所外の研修会にも参加する機会もあり、充実しています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	6		・支援プログラムの作成、公表を行っています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		・面談を通してニーズを聞き取りしています。その後、職員間で共有させていただき、提案、作成をしています。 ・児発管だけでなく、職員全体に必要な会議やアセスメントについて知ってもらえるように説明を行っています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・児童発達支援管理責任者を中心に職員とサービス等利用計画書を確認しながら個別支援計画を作成しています。	

適切な支援の提供	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・職員間で個別支援計画を共有し、それぞれアイデアなどがあった場合は意見を出し合いながら話し合い計画を立てています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		・事業所独自のアセスメントとえいぶるの両方を活用しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・アセスメントシートを基に全職員で会議を重ねた上で計画作成を行っています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	・職員で意見を出し合い、様々な活動を立案しています。	・活動プログラムはこれから作成予定で、マンネリ化しないように職員間で話し合い、決めていきたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	2	・日頃から情報収集を行い、飽きないような活動を目指しています。 ・成長や課題について話し合い、月の行事や季節に合わせた活動を考えています。また、利用する児童に必要な支援内容を組み込んだ活動を取り入れるようにしています。	・活動プログラムはこれから作成予定で、マンネリ化しないように職員間で話し合い、決めていきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		・上級生、下級生、男女等で活動しています。全体SST、個別のSSTを取り入れています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	・活動の際の役割分担や送迎時のイレギュラーなどがあった場合の連携の仕方など打ち合わせを行っています。	・各自で支援目標を把握するだけでなく、お迎えに行く前に再度１人１人のその日の支援内容を協議し、どの職員でも対応できるように工夫していきたいと思います。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	4	2	・退勤時間が異なるため支援終了後は難しいですが、翌日の午前中に振り返りを行っています。緊急で全職員に共有したいことがある場合には連絡ツールを使い、報・連・相を行うことで連携がとれています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・個別活動や１日の様子を正しく細かく記録を取るようにし、情報共有や日々の支援の改善に生かしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・定期的なモニタリングで見直し、確認等を行っています。職員で話し合った内容を児発管がモニタリングで関係機関に情報共有しています。	
関	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		・児発管が参加しています。場合に応じてはその児童と関わりが深い、信頼関係が築けている職員にも一緒に参加してもらうようにしています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		・別の事業所へ移行する場合には慣らし期間を経て、少しずつ日数を増やしていくように勧めています。また、会議等において関係機関と情報共有をできるようにしています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		・入学のタイミングで保護者の確認と同意をもらい、児童についての「紹介シート」を作成し、入学先の学校へ提出しています。移行前後の担当者会議には必ず参加しています。	

関係機関や保護者との連携	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	4	2		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	1	・近くの公園で遊ぶ際や児童館のイベントに参加することで地域の園児や小学生と交流できる機会があります。お互いに顔見知りになると仲良くなって一緒に遊ぶこともあります。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・やりとりしている連絡ノートや連絡ツール、お電話やLINEなどで事業所での取り組みとご家庭での様子を共有し、支援に連動性を持たせるようにしています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		・相談支援を行い、ご家庭でのお悩みを共有することでご家庭と連携できるように支援しています。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・ご契約時、更新時に細かく説明を行っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	6		・ご契約時や担当者会議においてアセスメントをしっかり取って作成しています。また、モニタリングの際に意向を確認しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・保護者からの相談等にはすぐに対応することができています。信頼関係も築けていると思います。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		・保護者会を開催しており、保護者同士で情報を共有したり、話し合っていただける機会を設けています。	・一方で参加できる方が毎回ほぼ一緒なので、参加しやすい日程や内容を検討していきたいと思います。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・相談や申入れがあった場合にはすぐに対応できるようにしています。職員全体にすぐに周知し、共有を行っています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		・毎月発行の事業所だよりにカラー写真を多く入れることで保護者から好評いただいております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・書類は鍵付き書庫にて保管し、外部に持ち出さないようにしています。守秘義務についても職員に伝え、秘密保持誓約書をもらっています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・毎日やりとりしている連絡ノートや連絡ツール、お電話やLINEなど。それぞれの保護者のやりやすい方法でご意見をいただいております。	

	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	・ハロウィン道ジュネーなど地域へ出ていくことは多いですが、地域住民を招待するイベントについては企画できていません。	・他事業所と合同でイベントを行ったことがあるが、地域の住民を招待するイベントは企画できていません。他事業所の取り組み例などを参考にして検討してきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・それぞれのマニュアルを整備しており、職員が見やすい場所に配置しています。 ・令和５年度からの感染防止については研修形式の机上訓練と組み合わせて行うようにしています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・訓練日決定後にお伝えしております。 ・年間行事に組み込んでいます	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		・初回面談の際、ご契約時に確認しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		・アレルギー項目の多い児童につきましてはお弁当やおやつの持参をお願いしています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	6			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・ヒヤリハットの事例が発生した場合には職員に周知し、再発防止策について話し合いを行っています。また、毎月の職務会において記録していた１か月分の事例について再び考える時間を設けて再発防止に向けた意見交換を行っています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・虐待防止の勉強会が開催され、適切に対応しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		・保護者へ説明を行い、同意書をいただいております。 ・職員には身体拘束に関するマニュアルに目を通してもらい、その研修を定期的に行っています。	